

地方創生推進交付金

～ソーシャル・フォレストリー都市創造促進事業 の取り組み～



Social・Forestry Ina city

ソーシャル・フォレストリー都市 “伊那市”



II 伊那市ソーシャル・フォレストリー 都市宣言



伊那市ソーシャル・フォレストリー都市宣言



平成28年2月、伊那市は「山（森林）が富と雇用を支える50年後の伊那市」を基本理念とした「伊那市50年の森林（もり）ビジョン」を策定した。

ビジョン実現のため、伊那市は市民を主役とした自立的な経済の循環を構築し、社会が森林を育て、森林が社会を豊かにする「ソーシャル・フォレストリー都市」を宣言し、以下の取組を実践する。

- 市民生活と共生し、市民が活用できる森林（もり）づくりに努めます。
- 市域の持続可能な経済発展を担う林業・木材産業活動を推進します。
- 森林が多面的機能を発揮するための住民参加を推進します。
- 森林資源・人材資源を育て、活かし、利用する循環社会を創出します。

平成28年9月27日 伊那市長 白鳥 孝

目指す未来

市民が森林の保全に自らかわり、
森林資源の活用は地元のあらゆる産業と協働的に進め、
そこから生まれる利益は市民に還元される地域社会の構築。





なぜ今、森林・林業を考えるのか？

エネルギー利用の視点から

化石燃料依存の現状は、経済価値の大部分が「外部に大きく流出している」ということ。

地域産業の基盤へ

木材エネルギーの利用は、外部依存から内部依存、内部循環型となっていく。
市内で木材生産するには「林業」の活性化が重要。
さらにその木材を市域内で「運搬」「加工」「販売」する産業も活性化することが重要。

自然環境と歩む伊那市

市内の優れた自然環境エリアは、ほとんどが森林に覆われている。
これらの自然環境を保全し、後世に引き継ぐためには、森林の取り扱いが重要。

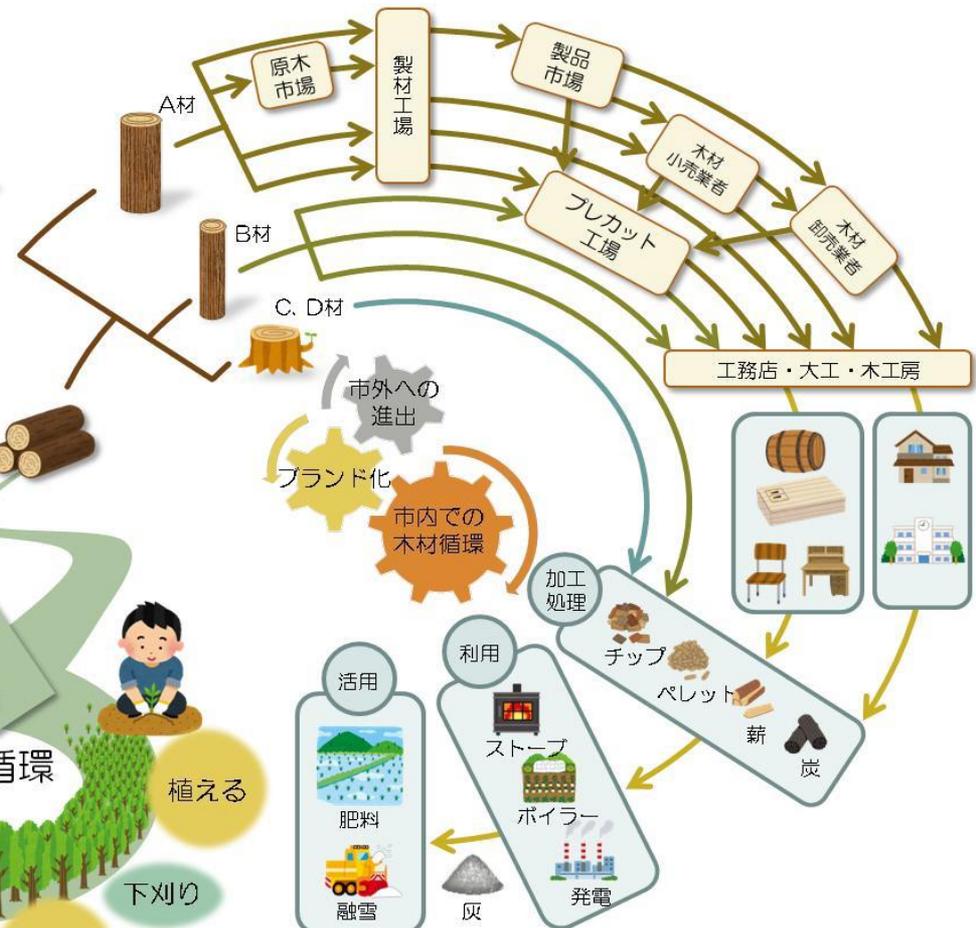
里山と農林業

人間が利用することで守られる里山を再生することが、生態系の保存、鳥獣被害の抑止につながる。
そのためには、農業との連携が不可欠であって、里山の木材を利用する仕組み作りが必要。



伊那市50年の森林(もり)ビジョン

—山(森林)が富と雇用を支える50年後の伊那市—
目指す森林資源の循環の姿



- 課題
- 林齢の片寄り
 - 未整備林の増加
 - 獣害・病虫害
- シカ、ツキノワグマ、松くい虫
- 林班境、所有者の明確化
森林簿の整備

ソーシャル・フォレストリー都市創造促進事業 取り組み事業

1. 伊那市50年の森林（もり）ビジョン推進委員会の運営
（ビジョン実行計画の進捗管理等）
2. ウッドスタート事業
（新生児に対して木のおもちゃのプレゼント）
3. 山林資源活用機器設置事業
（薪ストーブ・ペレットストーブ設置補助）
4. 木質バイオマス人材育成支援事業
（林業事業者への新規就業者雇用補助）
5. 木質バイオマス原材料搬出奨励金交付事業
（個人等で木材を搬出し、業者に持込んだ際に補助）
6. 林業機械整備事業
（チェーンソー、薪割機の購入補助）
7. 市域材利用促進事業
（市域材を利用して建築物を改修、建築した際に補助）
8. 地域材利活用研究会
（市域材を活用しての木製品の商品開発）
9. 社会林業都市構想プロモーション
（プロモーション映像作成、庁舎木質化によるPR活動）
10. ドローンを活用したシカ対策事業
（ドローンを使ってシカの居場所を特定し捕獲に繋げる）



地域材利活用研究会での研究実績

森林資源の活用を図るため、間伐材を含む地域材の新たな有効利用について研究と活用を進め、ブランド化を目指す。

平成28年度 木棺、ワイン仕込樽、ワイン化粧箱

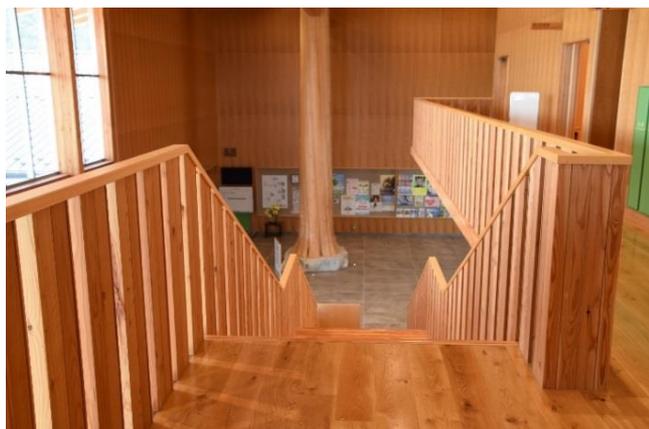
平成29年度 長衛翁村田銃展示台、木製ベンチ

平成30年度 そば道具、木製塀

木質バイオマス先進地、朝日村役場庁舎の視察



伊那バスターミナルに設置した椅子



朝日村役場庁舎内



全国木育サミットに展示した木棺

ウッドスタート事業

新生児に木もおもちゃをプレゼントすることで、木のぬくもりや木への関心を高め、木工産業の振興と木育の推進を図る。

3ヶ月検診時に希望を取りまとめて、6ヶ月健診時にプレゼントする。
現在13種類のおもちゃを用意。

平成28年度	527人
平成29年度	525人
平成30年度	496人（2月現在）



市民ホールに展示されているおもちゃ



八種の積木



離乳食の器



あかまつDA（車）

社会林業都市構想プロモーション

社会林業都市構想のプロモーションにより「ソーシャル・フォレストリー都市」としての知名度、認知度の向上と合わせて地域材の利活用促進に繋げる。

平成29年度 プロモーション映像の製作（森のこえ）
平成30年度 庁舎市民ホール木質化



市民ホール木質化イメージ図



「森のこえ」撮影風景



木製品制作風景



「森のこえ」完成記念イベント

伊那谷 里山整備が地域を笑顔に

—— 楽しく感じて楽しく学ぶ！ みんなで育てる地域のしずみ ——

